

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
経営戦略論	共通	2年生・前期	2単位	選択	遠藤 真紀	○
履修の前提条件	「経営学総論」をはじめ、「経営管理総論」、「マーケティング論」、「ベンチャービジネス入門」、「ベンチャー企業論」、「会計学入門」など、基礎的な経営学関連科目を履修し、理解していること。					
授業概要 (Course Outline)						
中小企業診断士として、企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等、経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。経営戦略に関する基本理論を体系的に理解するとともに、その理論の背景や意義などについても考察していきます。テキストを基に、伝統的な理論から現代の戦略論まで、その形成過程や今日の課題について講義を進めます。現代企業の経営戦略が、情報システムやネットワーク技術との関わりで進化していることから、これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					○
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					○
	自己管理能力 Self-management					○
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
生涯学習力 Lifelong Learning					○	
到達目標 (Objectives)						
現代企業の経営における戦略の意義や必要性および主な経営戦略理論(分析型・プロセス型経営戦略, ドメイン、製品・市場戦略、経営資源、競争戦略等)について理解していること。具体的には、卒業後、就職した企業の経営戦略等が理解でき、自律的・自発的な行動への判断基準が持てるようになること。また例えば、企業物とよばれる小説またはビジネス雑誌・書籍等の理解が促進されるようになること。						
事前学習の内容	経済・社会および企業の経営または戦略等に関心を持ち、実社会での出来事など様々な情報に接しておく事が期待されます。また事前にテキストを読み、課題(レポート作成)に取り組んでおく必要があります。					
事後学習の内容	講義は、それぞれの理論の一部分を解説しているに過ぎません。よってテキストを読み直すだけでなく、実社会での出来事や事件・ニュース等との関連性を考えるなど、関連情報の収集と考察が期待されます。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し、講義を聴いているだけでは単位取得できません。講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。また企業経営や経営戦略に関するビデオ聴講による演習等を行います。聴講したビデオに基づき、ディスカッションを行うため、ビデオ内容の聞き取り力、メモ力、聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
教員への講義内容および企業情報や企業経営等に関する質問および関連資格の取得方法等を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は研究室で対応します。オフィスアワー以外の不在時には、研究室のメッセージボードやEメール (endo@kiis.ac.jp) 等を活用してください。自主性を重要視するので「来る者拒まず、去る者追わず」のスタンスで対応しますが、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
希望者には、必要に応じて、販売士(3級~1級)、経営学検定(マネジメント検定:初級、中級、上級)、中小企業診断士等、経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。宿題となる課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録(ポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	講義の目的と進め方(講義内容のアウトラインの理解)		
第2回	経営戦略の意義 - 環境変化と経営戦略 -		
第3回	- 経営戦略の定義, 企業と環境のかかわり方 -		
第4回	- 将来志向的な構想, 意思決定プロセス -		
第5回	経営戦略論の生成と発展 - 経営戦略論の生成(チャンドラー, アンゾフ, スタイナー等) -		
第6回	- 分析型経営戦略論(経験曲線, PPMほか) -		
第7回	- プロセス型・情報創発型・社会調和型経営戦略論 -		
第8回	経営戦略論の体系 - 全体戦略と個別戦略, 経営戦略の構成要素 -		
第9回	- 経営戦略策定プロセス, 経営戦略の構成要素の適合性 -		
第10回	ドメインの設定 - ドメインの意義, ドメイン定義の要件 -		
第11回	製品・市場戦略 - 製品・市場戦略の意義, 製品・市場マトリクス -		
第12回	- 多角化戦略, 差別化と細分化, 新製品開発, 新市場開拓 -		
第13回	経営資源 - 経営資源と経営戦略 -		
第14回	競争戦略 - 競争戦略の意義, 価値連鎖, 競争基本戦略, 競争戦略の定石 -		
第15回	講義のまとめ(講義内容全体の総括)		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
経営戦略論要論	岸川善光	同文館出版	4-495-37421-4
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
よくわかる経営戦略論 戦略プロフェッショナル	井上善海・佐久間信夫編著 三枝 匡	ミネルヴァ書房 日経ビジネス文庫	978-4-623-05069-7 978-4-532-19145-0
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>成績評価方法: 定期試験、平常点(出席率、ディスカッションへの参加、各種レポート提出、資格試験への取り組み、ポートフォリオ提出、教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性)等を総合的に考慮して評価します。</p> <p>評価基準: 学習に対する積極性および経営戦略の意義や各経営戦略理論等について基礎的な理解が図られている。自身に関係する企業の経営戦略等が理解でき、自律的・自発的な行動への判断基準が持っている。</p>			